

2026年6月1日

三菱UFJ信託銀行株式会社

北海道大学とサステナビリティ推進に向けた包括連携に関する協定を締結

三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長：窪田 博^{くぼた ひろし}、以下 三菱UFJ信託銀行）は、持続可能な社会の実現に向け、国立大学法人北海道大学（総長：寶金 清博^{ほうきん きよひろ}、以下 北海道大学）とサステナビリティの推進に向けた包括連携に関する協定を、2026年6月1日付で締結いたしました。

これまで三菱UFJ信託銀行は北海道大学に対して、経済学部への寄附講義開講やグリーントランスフォーメーション（GX）先導研究センターとのトランジション技術の評価に関する共同研究に取り組んでまいりました。本協定により、これら個々のテーマごとの取り組みを大学全体へと拡張し、人材育成から社会実装までを一体的に推進して参ります。

1. 連携の背景

環境・社会課題への解決に向けて、新たな産業・社会構造への転換を促すサステナブルファイナンスを提供する主体として金融機関の取組みの重要性はますます高まっています。特に、長期視点を持つ機関投資家がサステナビリティを考慮したインベストメントチェーンを築くことは持続可能な経済成長を実現する上で重要であると考えています。

本協定では、三菱UFJ信託銀行の金融に関する知見と北海道大学の学術的知見を融合した取り組みを推進するとともに、多様なステークホルダーとの対話・連携を通じて、環境・社会課題の解決への貢献を目指して参ります。

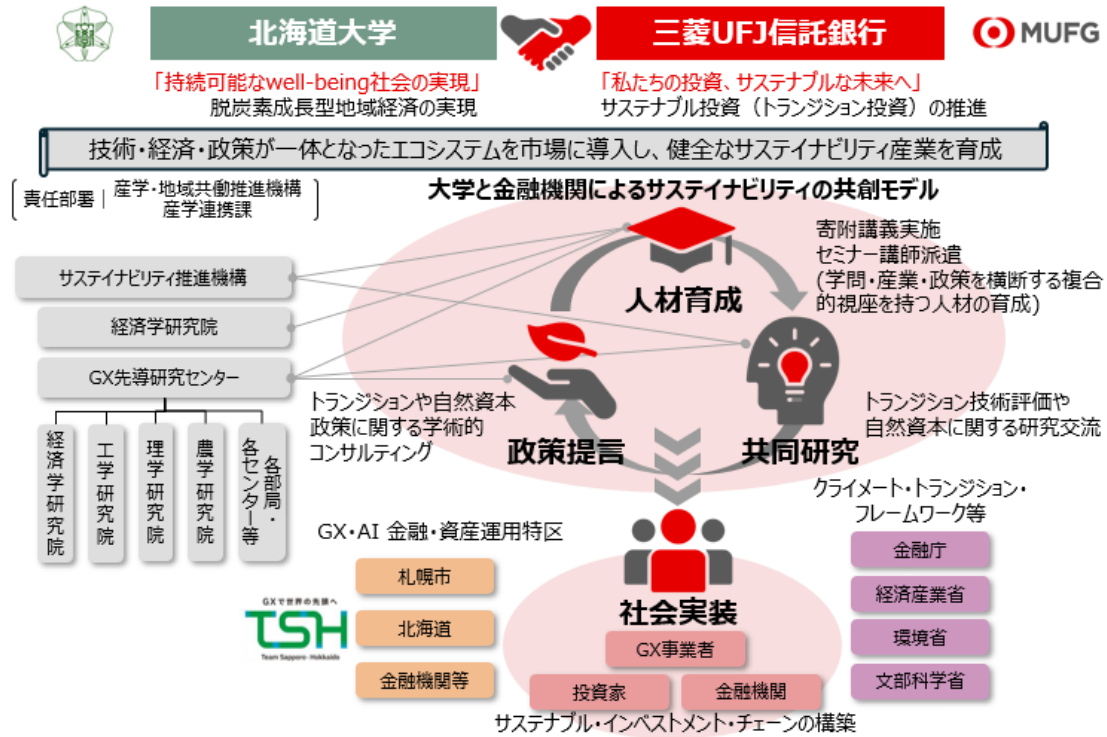
また、北海道・札幌市は「GX/AI 金融・資産運用特区」に指定されており、GX/AI産業の集積とそれを支える金融機能の強化が期待されています。資産運用特区の創設を含む「資産運用立国実現プラン」においても、「金融経済教育の充実」による金融リテラシーの向上の重要性が示されています。こうした社会的要請に応えるべく、本協定を締結するに至りました。

三菱UFJ信託銀行は本協定を通じて、受託者責任の下、持続可能な成長と企業価値の向上によるお客様及び社会への貢献を一層強化して参ります。

2. 連携の内容

本協定に基づき、以下の分野において連携して取り組んで参ります。

- (1) サステナビリティ推進に向けた人材育成に関すること
- (2) サステナビリティ推進に向けた研究推進に関すること
- (3) サステナビリティ推進に向けた政策提言に関すること
- (4) サステナビリティ推進に向けた成果の社会実装に関すること
- (5) その他本協定の目的を達成するために必要と認めること



グリーントランスフォーメーション先導研究センターとのトランジション技術の評価に関する共同研究の取組みの一環として 2025 年度の調査報告書※を発行しております。

※主要 8 セクターにおけるトランジション技術の整理とセクター分析— 北海道大学・三菱 UFJ 信託銀行 共同研究年次調査報告書 2025 年度—

https://www.tr.mufg.jp/new_assets/mufgam_su_kenkyu/pdf/20260529_transition_seiri_sector_bunseki.pdf

以上